

表4 当施設での新人オリエンテーションスケジュール

[4月スケジュール例《2013～2016年スケジュールより抜粋》]				
	日時	研修内容	担当者	
4月 1週目	1日目 1日	中央集合研修		
	2日目 1日	中央集合研修		
	3日目 1日	中央集合研修・交付式		
4月 2週目	月	AM	中央集合研修	
		PM	勤務についての心得・勤務表の見方 打刻・勤怠入力方法 書類関係 面談 院内および手術室案内 更衣室・休憩室の使用方法	師長・副師長
	火	1日	中央集合研修(感染/院内ツアー)	
	水	AM	DVD研修①「手術室のイメージづくりのためのDVD視聴」	プリセプター
		PM	DVD研修②「手術室のイメージづくりのためのDVD視聴」	プリセプター
	木	AM	副師長オリエンテーション	副師長
		PM	手術室ツアー(手術室内・サプライ・洗浄滅菌室・麻酔科外来) ※3チームに分かれて	プリセプター
金	1日	中央集合研修(看護技術研修) ※与薬・採血・輸液管理		
4月 3週目	月	AM	入室前準備～患者入室～退室までの流れを見学してみよう① ※実際の手術を見学しよう	
		PM	薬剤の取り扱い(劇薬・毒薬・麻薬、薬の準備、薬効) 業者オリエンテーション(感染)	リスク担当 業者
	火	AM	入室前準備～患者入室～退室までの流れを見学してみよう② ※ペアで薬品準備・ルート作成を経験しよう	
		PM	ルート(末梢・Aライン・CVカテ)、ドレーン固定 術前・術後訪問見学	スキン担当
	水	AM	入室前準備～患者入室～退室までの流れを見学してみよう③ ※ルートの固定を経験してみよう	
		PM	手洗い・ガウンテクニック(ガウン・手袋の装着方法)ガウンの着せ方 術前・術後訪問見学	リンク担当
	木	AM ～ PM	入室前準備～患者入室～OP 流れを1例見学してみる④ ※できることから経験してみよう ペアで器械出しの準備から見学してみよう① ※外回り体験5人 器械出し体験4人	
		PM	シミュレーション研修 患者役と看護師業になって入室からの流れをやってみよう	プリセプター
金	1日	中央集合研修(目標管理・看護技術研修) ※血糖測定・糖尿病の基礎		
4月 4週目	月	AM ～ PM	先輩看護師とペアで外回りをやってみよう⑤ ※できることから経験してみよう ペアで器械出しの準備から見学してみよう② ※外回り体験5人 器械出し体験4人	
		PM	振り返りノート書き方、学習の方法	教育担当者

先輩看護師が、自分たちの経験をもとに「こんなオリエンテーションDVD欲しいな」という意見から後輩のために作成したDVDを視聴

中央の研修が済んだ項目に関連する手術室オリエンテーションを組み込み学んだことから実践していく1日1つできることを増やす

業者にお願ひできる内容はオリエンテーションとして組み込みスタッフの負担を軽減

手術室でも1日OPにつくのではなく、午後にオリエンテーションを組み込むようにプログラムオリエンテーションは1日1～2項目とし集中が保てるように配慮

外回り、器械出しを見学体験を複数回した後に、どちらからスタートするか新人の希望を考慮し決定する

3週目以降は週に1回(金)に中央での集合研修が入るようにプログラムされている配属部署を離れる時間を確保

外回り、器械出しそれぞれに関して、事前に学習する項目・ポイント・方法から、自己の振り返りノートに記載する項目、具体例などを指導

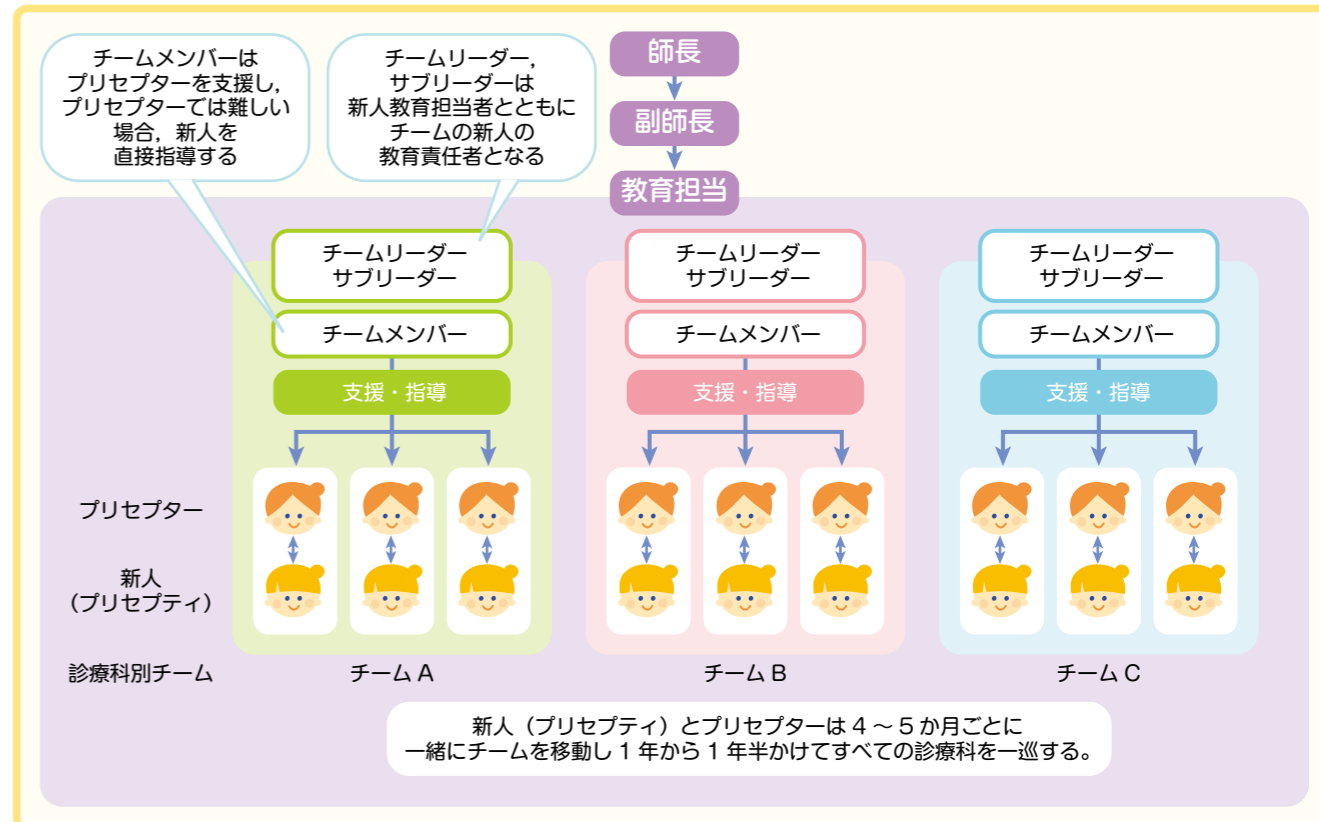


図2 新人サポート体制
・チームメンバーはプリセプターを支援し、プリセプターでは難しい場合、新人を直接指導します。
・チームリーダー、サブリーダーは新人教育担当者とともにチームの新人の教育責任者となります。
・新人(プリセプティ)とプリセプターは4～5か月ごとに一緒にチームを移動し1年から1年半かけてすべての診療科を一巡します。

う不満を抱くこともあります。そのため、見学期間でも、新人看護職員研修で与薬の研修が終われば、薬をシリンジに吸う、輸液ルートを作るなどを先輩とペアでできるように手術室オリエンテーションに手術室での与薬の項目を組み込み、毎日ひとつ新しいことを実践できるようにします(表4)。これにより、毎日できることを増やし、自己効力感につながるようにと考えています。ゆっくり進めて、環境に慣れてもらい、知識は一度に詰め込みすぎないように配慮しながらできることを増やし、モチベーションを維持できるようなバランスが大事になります。

その3: プリセプターとチームによるサポート体制

新人を支援する体制として、当手術室では以前から行っていた、マンツーマン形式のプリセプターシッ

プから、2～3人の新人看護師に対して世話役・相談役1人配置するチュータシップを経て、3年前よりプリセプターシップを再導入しました。現在の制度では(図2)、新人の教育はチームメンバー全員で行うことを基本に3～4年目の看護師がプリセプターとなります。この年代のスタッフは新人看護師と歳が近いことが多く、新人のころの気持ちを覚えており、新人の気持ちに寄り添いやすい傾向があります。また、学習方法が確立している時期で、自分なりの学習の工夫などを教えることができる時期です。通常の場合では後輩スタッフに配慮できる余裕もあります。しかしながら、3～4年目は手術室看護師のクリニカルリーダーレベルでは新人から一人前に移行する段階(図1)であり、個人差もありプリセプターが皆、一人前レベルであるとはかぎりません。実践レベルの指